

映画「パッチアダムス」をビデオで見ました。  
医師が薬漬けの医療に疑問を抱き、患者の笑いを取り戻すことで、また患者の夢をかなえることで病氣と闘っていこうという考えを持ち実際に病院を作ったという実話を基にしたお話です。

「笑い」がいかに治療に効果があるかはその体験記が本にもなっています。

「笑いとお癒力」ノーマンカズンズ著 岩波書店  
不治に近い難病をジャーナリスト自らが「笑って」治したというもので人間の自然治癒力の驚くべき可能性を取材し、笑いとおユーモア、生への意欲が奇跡を起こすことが記されています。

「ほほえみの会」も子ども達に笑顔で接し、笑顔をつくることで痛みを和らげ、治療を促進しようという願いを込めた親の会です。  
こうした映画や本に接すると改めて「笑い」には予想以上の効果があるようです。  
きょうも“笑顔”で…

#### < 第 5 3 回 ほほえみの会 >

新会員 2 人と岡田先生を含め 8 人が参加しました。

初めて参加された方は下田と東伊豆  
共に毎日面会に通っているそうです。家では祖父、祖母と同居で兄弟の面倒を見てくれているとのことでした。  
下田の方は 1 才 7 ヶ月で急性骨髄性白血病  
入院して 1 ヶ月まだまだ気持ちの落ち着かない様子でした  
東伊豆の方は 1 1 才の男の子悪性リンパ腫  
本人にも告知をしたが動揺は見られないとのことでした。

中学 2 年で悪性リンパ腫となったものの骨髄移植を受けて元気になり今年 2 0 才を迎えた女性が参加してくれました。  
とても元気で勇気づけられます。  
しかし 2 0 才になると小児慢性特定疾患からはずれてしまうとのことでした。

神経芽腫を克服した 4 才の男の子

運動は他の子と同じように出来るのに身長が伸びない。先生から身長を伸ばす成長ホルモンを打つかどうか話があった。  
成長ホルモンにはリスクもあり親としてはやりたくないが子ども自身のこれからのことを考えるとどうしたらいいか迷い悩んでいるとのことでした。  
実際に打っている人からは 2 年間で 1 0 センチくらい身長が伸びたという話もありました。

「骨髄異形性症候群」は「再生不良性貧血」と同じ様な病気で同じ治療をするのに特定疾患に認定されていないのはおかしい。  
何とか認定してほしいという署名のお願いがありました。  
病気がまだ新しいこととよくわかっていないことから認定されていないようです。  
署名のご協力をお願いします。お問い合わせ下さい。

面会時間が 1 2 時からになったことで「ほほえみの会」の開始時間も早め 1 1 時から 1 時の開催としました。  
面会のある方は前半だけでもご出席下さい。

次回は 1 2 月 1 2 日 ( 日 ) 1 1 時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一  
E